

人体科学会第 31 回大会プログラム

12 月 4 日 (土) 大会 1 日目

9:30 入室開始 (Zoom 通信確認)

9:45 開会の辞 大会会長 守屋治代

9:50-10:30 研究発表 A 群 【座長 渡邊勝之】

9:50-10:10 中盛祐貴子 (祐泉指圧治療院)

「指圧リンパ療法と祈り」

10:10-10:30 金子武良 (金子指圧治療院)

「筋肉の硬直患者とソフト指圧」

10:35-11:35 研究発表・体験発表 B 群 【座長 大橋健二】

10:35-10:55 謝 淇榕 (東海大学大学院 文学研究科)

「呼吸法の学習過程についての考察—心因性の喘息を参考に—」

10:55-11:15 北原立朗 (湘南工科大学)

「身体教育における丹田育成法の比較と実践報告」

11:15-11:35 橋本和哉 (医療春鳳会 はしもと内科外科クリニック) (体験発表)

「気パワースポット巡りからの報告—大地自然は気エネルギーを発している—」

11:40-12:20 研究発表 C 群 【座長 守屋治代】

11:40-12:00 寺本久美子 (千里金蘭大学)

「その人らしい「生」を支える—アドバンス・ケア・プランニング (ACP) とは—」

12:20-12:40 船木 祝 (札幌医科大学)

「新型コロナウイルス感染症拡大と高齢者の人間関係—孤独問題を焦点にして—」

12:20-13:30 昼食・休憩

13:30-13:50 大会長講演 守屋治代 (東京女子医科大学)

「“Nature”の声をきくこと」

13:50-14:30 基調講演 I 倉澤幸久 (桜美林大学名誉教授) 【座長 鮎澤 聡】

「生ける自然 —人間存在の基本的条件—」

14:30-14:40 休憩

14:40-16:40 会員企画セッション 【座長 山野 隆】

山野 隆 (山野医院・一般財団法人チ楽協会)

「解りにくいチ楽から解り易いチ楽への進化」

石田章代（公立小学校）

「チ楽を身に付けることで生まれる日常への多様な影響」

早水 丈治（株式会社 GiVER・はりきゅうマッサージ SAYURI）

「チ楽の恩恵とチ楽を用いた症例報告」

渡邊勝之（一般社団法人いのちクリエイション）

「チ楽の実践および楽師（ナビゲーター）としてのチ楽一印知感
覚”と“ゼロ感”の異と同一」

高橋道也（医療法人 内科高橋クリニック）

「スティックケアが有効であった、外傷3症例」

コメンテーター 内田匠治（九州看護福祉大学）

16:40 大会事務局より連絡

16:40-17:40 理事会

17:50-18:20 情報交換会

12月5日（日）大会2日目

10:00 入室開始

10:15 2日目開始挨拶

10:20-11:20 研究発表D群 【座長 須田 齋】

10:20-10:40 岡田 誠（國學院大學大学）

「熊崎式姓名判断の源流」

10:40-11:00 長田 晋一（九州大学大学院 人文科学府）

「チャクラ説の再考—古典文献を手掛りに—」

11:00-11:20 大門正幸（中部大学）

「心霊科学研究と南方曼荼羅」

11:20-12:30 昼食・休憩

12:30-13:10 会員総会、湯浅賞授賞式

13:10-13:50 基調講演Ⅱ 棚次正和（京都府立医科大学名誉教授）【座長 守屋治代】

「第二の自然本性としての「祈り」の実践」

13:50-14:00 休憩

14:00-16:25 シンポジウム：「生ける自然」と祈りの実践【座長 桑野 萌】

市川きみえ（清泉女学院大学）

「いのちの誕生における「生ける自然」と祈り」

大橋健二（鈴鹿医療科学大学）

「宇宙生命としての「気」と「祈り」」

里村生英（上智大学グリーン研究所）

「ミュージック・サナトロジー実践における「生ける自然」と

祈り」

桑野 萌（金沢星稜大学）

「湯浅哲学からみる東西の自然観の比較と祈りの実践」

コメンテーター アルタン・ジョラー（東京外国語大学）

16:25 人体科学会会長挨拶 鮎澤聡（筑波技術大学）

16:30 閉会の辞